令和６年８月１日発行　№208

湖畔の風

★グラウンドゴルフ大会開催

７月１３日（土）第３３回世代間交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。

参加者は小学生から 80 代まで 30 名。６グループに分かれて競技を行いました。小学生の参加が少ないので小学生の部の表彰が出来ませんので、昨年より男性の部、女性の部で競技をしていただいています。

また、今回は団体戦として公民館単位でも競っていただきました。

結果は下記のとおりです。

天気が心配でしたが、たくさんの方が参加してくださいました

男性の部優勝は菅原政二さん

上：地域おこし協力隊 柏谷恵さん 成績は？
下：唯一の小学生 塚沢舞さん いつも参加してくれてありがとう

令和６年度成績

男性の部

優　勝	菅原	政二	45 点
準優勝	菅原	講作	47 点
第３位	伊藤	幸浩	47 点

女性の部

優　勝	板倉	朝子	51 点
準優勝	女鹿	千春	55 点
第３位	菊池紀美子		62 点

※　得点が同じ場合、年齢が上の方を優位としました。

団体の部

優　勝	小倉	250 点（上位５名の点数）
準優勝	白土	262 点
第３位	舘野	276 点
第４位	中通	280 点

他にブービー賞、ちょうど賞（5、10、15、20、25 位）、敢闘賞（４名）。たくさんの賞を贈りました。

ホールインワン賞

◎菅原　政二
◎小田島功一

グラウンドゴルフはここからが難しい

飛ばすぞー！　はいっ。いいよ！

★ 成島和紙ランプシェード講座

ランプシェード講座を７月７日（日）田瀬振興センターにおいて開催いたしました。昨年も開催し好評でしたが、今回も９名の参加がありました。

今年は８月９日（土）～１２日（月・祝）興禅院と田瀬釣り公園を会場に「成島和紙夢灯り展 2024 夏の陣 in 田瀬」が開催される予定です。それに合わせての事業で、今回の講座で作った作品は夢灯り展に展示されます。（展示会場は興禅院の予定です）

工程は和紙の原料となる楮（こうぞ）の芯（皮をはいだもの）を組み合わせてランプシェードの枠を作ります。その枠に好みの成島和紙を貼って仕上げます。和紙は白い物・無地ばかりでなく、色物や柄のついたものもあるので選ぶのに迷います。それに和紙をちぎって貼ったり、模様を作ったり。和紙の持つ温かみのあるランプシェードを完成させました。

地域おこし協力隊　赤津有美さんの指導で成島和紙を使ったランプシェードが完成しました

☆ 田瀬さんぽ×青写真ワークショップ

「田瀬地域の活性化」をテーマに活動している地域おこし協力隊・柏谷恵さんによるワークショップが田瀬で開催されました。中通の多田ガーデンをお散歩して、植物などを採取し、青写真に加工してアート作品を作りました。一般参加者は東和在住の３人。青写真の作り方は、紙に薬剤を塗り乾かしてから、その上に採取した植物などを置きます。そして日光に当てること約 10 分。その後水洗い→ハイターの入った水で定着するとあら不思議。薬剤を塗った部分が青くなり、植物などを置いたところが白く浮き上がりました。今回は参加者が少なかったのですが、次に田瀬を会場に開催する時は、絵画や写真に興味のある方・植物が好きな方など参加してはいかがでしょうか。

異聞
田瀬の歴史 第30回

≪日本初の博覧会に田瀬から砥石を出品した男 ≫

佐十郎の実在を検証、砥山は高河原山

追分の碑に刻まれた「とやま（砥山）」は『明治前期産業発達史資料』に記されている「高河原山、643ｍ」に間違いありません。因みに、砥森山は 670ｍ、明神山は 623ｍ。

「弘化４年　佐十郎建つ」と刻まれた追分の碑によって、佐十郎が実在したことが明らかになりました。

「右はとうの道、左はとやま道」と標示された左の道を上がること１時間、調査団は確かに砥石の採掘跡と思われる地点に着きました。後でわかったのですが、明治 20 年に時の岩手県知事に田瀬村の多田藤次郎、伊藤喜代太、菅原政次郎の３名が、砥石の掘削許可を願い出しています。地域の高齢な方ならこの３人が何処のだれかわかるでしょう。おそらく多田佐十郎にかわって第１回の博覧会に砥石を出品したのはこの３名です。古老の話では、砥石を戦前まで黒沢尻へ運んで売っていたようです。

余談ですが、今の遠野市小友町から田瀬に嫁いできた人が数人いますが、昔は実家に里帰りするときはこの道を一日がかりで帰ったそうです。この追分の碑までは時に人に会いましたが、これから先は一人で山越え、昔の人は強かった。

さて、多田佐十郎は田瀬のどこの人か。田瀬の多田姓は白土に多く、中通の一部に存在しますが、昭和 29 年のダムによる移転では白土地区は少ないので、多分、白土の人でしょう。

調査の結果多田佐十郎は明治 10 年４月４日（旧２月 21 日）亡くなっていました。当時、明神山の麓の丘陵に居住していました。現在は釜石高速道路になっています。とすると、博覧会は明治 10 年８月 21 日から 11 月 30 日まで開催されたのですから、実際には本人は申込だけで、博覧会当日は、前述の３名が田瀬産の砥石を搬入したのでしょう。当時、出品者の選定は一年前に行われたといいますから佐十郎本人の申込みに違いないでしょう。だとしたら当時としては明治維新後に砥石を産業化した田瀬地域の大事業家だったことになります。

砥石の原石と思われる岩

なお、余談ですが、砥石の 200 人の出品者のうち売れたのは 72 名、佐十郎の砥石は当時の金額の 30 円で売れました。今の金額にすれば 60 万円。材質や量にもよりますが高い人では８千万円、安い人は７万円。売れただけでも良しでした。旅費として実費の半額が支給されたようです。会期中の総入場者数 454,168 人。

黄金沢部落から採掘地までの間には供養塔や耕作地のような場所もあることからいつの時代か採掘した人が夏の期間居住した集落があったと思われます。調査団は山頂近くの砥石の掘削した付近から、砥石の原石を持ち帰りました。磨けば商品化できそうな石質で、調査団が加工したところ、草刈り鎌を研ぐ砥石が出来たから、これを加工して日本初の万国博覧会に出品したのでしょう。

彼らの先見の明が生かされることなく埋もれてしまったのは残念な「田瀬の歴史」の一コマでした。（おわり）

令和２年度　砥石調査団

次回予告。『躍動した子供たち』。今はない田瀬小学校、大野小学校、田瀬中学校。ここで学んだ児童・生徒の活躍を振り返ります。
お願い　田瀬湖一周駅伝の写真のある方是非お貸しください。あるいはお持ちの方をお教えてください。

お知らせ！

◎いきかえれ田瀬小学校

旧田瀬保育所園庭にブロンズ像「空へ」が設置されました。フォトスポットとして開放いたします。田瀬ダムをバックにステキな写真をどうぞ。
今後は、「風の楕円」という作品も設置する予定です。本体の設置作業予定など７月３１日付の「田瀬小学校いきかえれ新聞」に掲載されていますので、ご協力をお願いいたします。

風の楕円（完成予想図）

◎成島和紙夢灯り展 2024 夏の陣 in 田瀬

８月９日(金)～12 日(月・祝)17：00～21:00　（※イベントによっては時間が変わりますので、チラシ、市の HP でご確認をお願いいたします。）
興禅院、田瀬釣り公園を会場に成島和紙の夢灯り（ランプシェード）が灯されます。田瀬在住の空音慎氏によるクリスタルボウル演奏会（８月１０日１８時３０分～要予約）や御朱印帳作り（８月９日１５時～　要予約）など。ご家族、お友達お誘いの上おいでください。

8月の行事予定

- 川崎市ふれあいサマーキャンプ交流会　7月31日(水)～2日(金)
- 川の生き物調べ　　8月3日(土)
- 第２回資源ゴミ運搬　８月６日(火)
- 成島和紙夢灯り展 2024 夏の陣 in 田瀬
  8月9日(金) ～8月12日(月)
  ※ クリスタルボウル演奏会　8月10日(土)　18：30～

9月の行事予定

- みのりまつり実行委員会
- 各地区敬老行事

令和６年度第２回資源ゴミ運搬を**８月６日(火)**に行います。それまでにご家庭の資源ゴミを指定の場所までお持ちください。

諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

田瀬地区の人口

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。　（令和６年６月末現在）

行政区	世帯数	人　数			比　較（５月末）
		男	女	計	
田瀬第１	６８	７８	８７	１６５	１人減
田瀬第２	３０	３３	３４	６７	―
田瀬第３	７３	６９	８４	１５３	―
計	１７１	１８０	２０５	３８５	１人減

すべてのお問合わせ先
田瀬地域コミュニティ会議　事務局電話　４４－５２８１まで